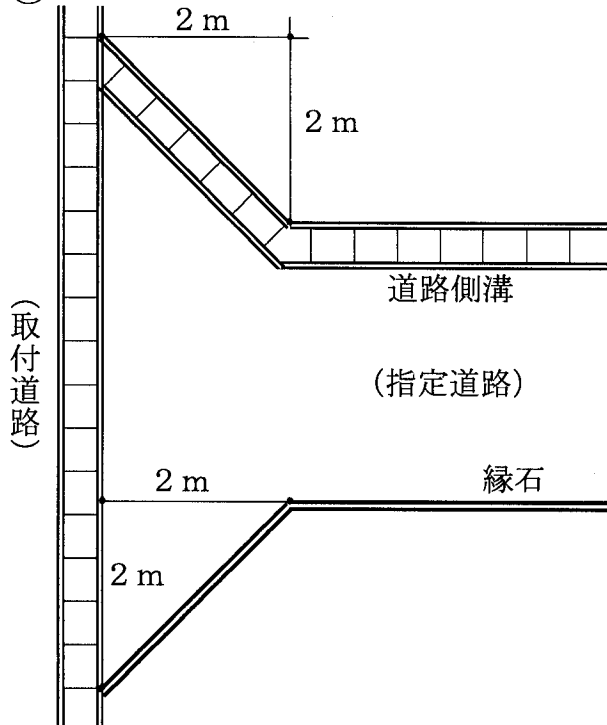


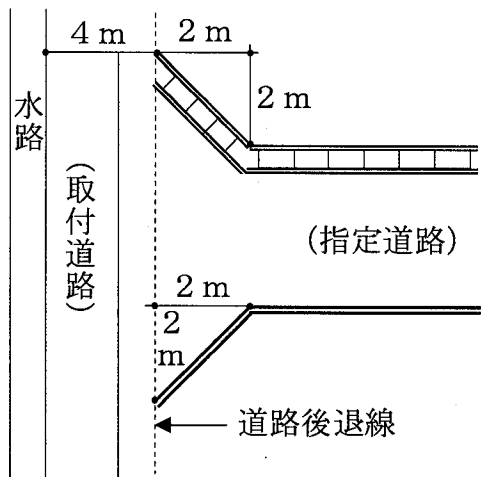
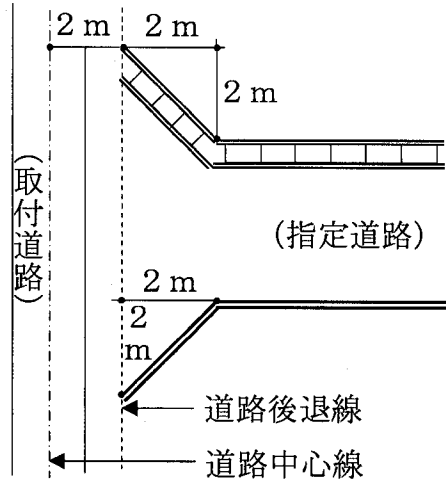
道路位置指定技術基準

(1) すみ切りの取り方

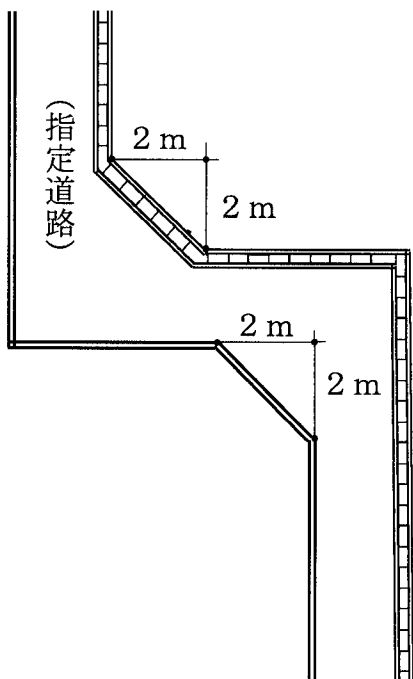
①



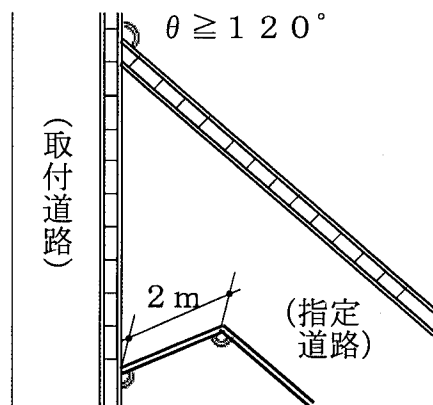
② 取付道路が4 2条 2項道路の場合



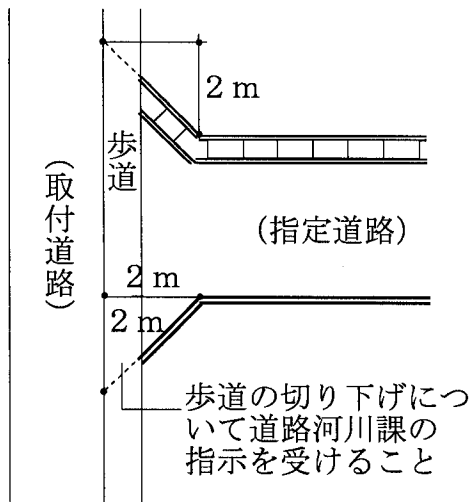
③ 途中で屈曲する場合



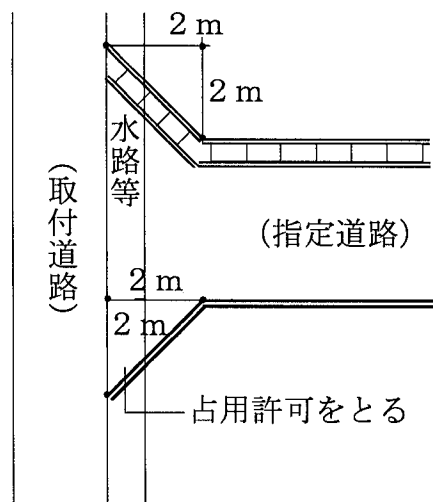
④ 鋭角部分の場合



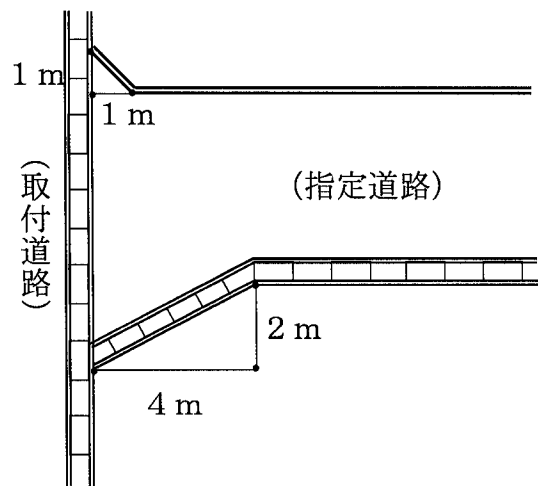
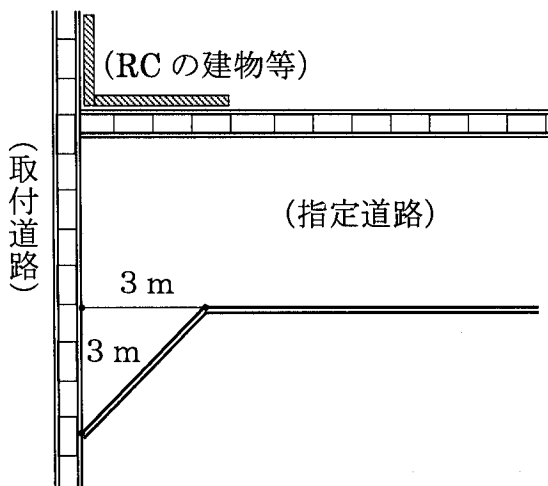
⑤ 歩道がある場合



⑥ 水路がある場合

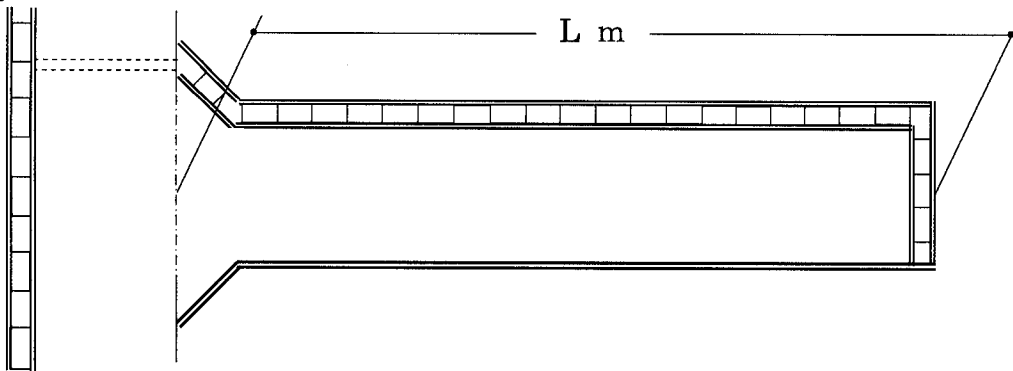


⑦ どちらか一方のすみ切り部分が2 m以上とれない場合

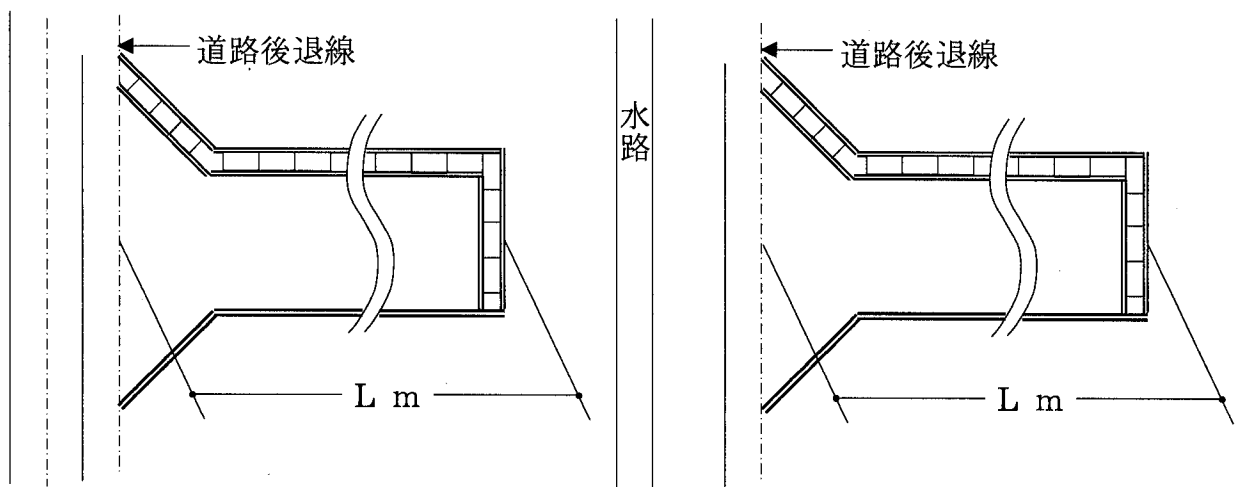


(2) 延長距離のとり方 (道路の中心距離)

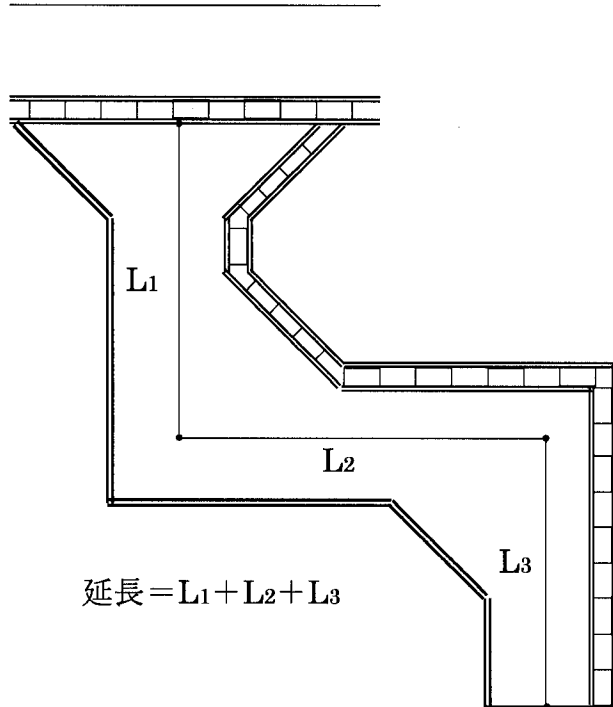
Ⓐ



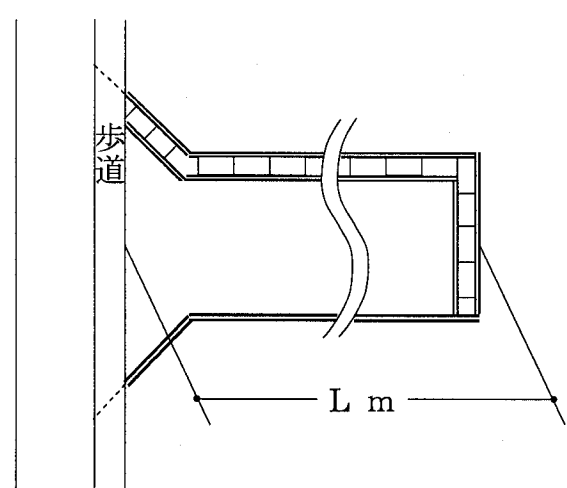
Ⓑ 取付道路が4 2条2項道路の場合



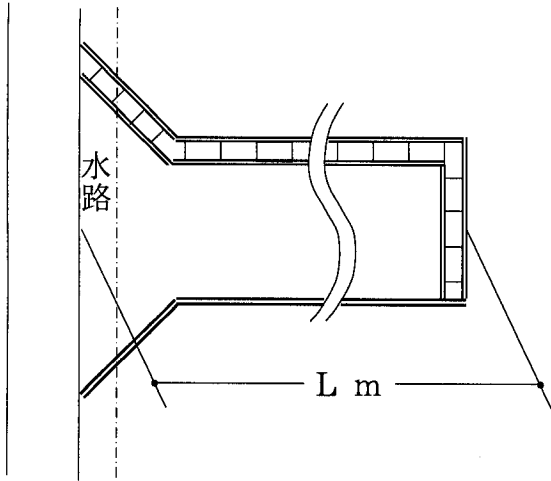
Ⓒ 途中で屈曲する場合



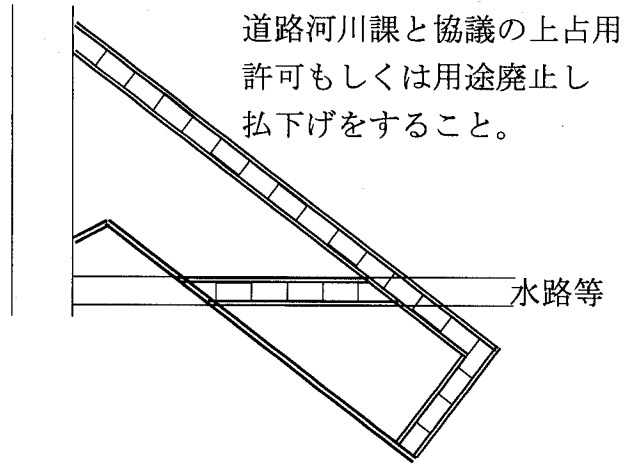
Ⓓ 歩道がある場合



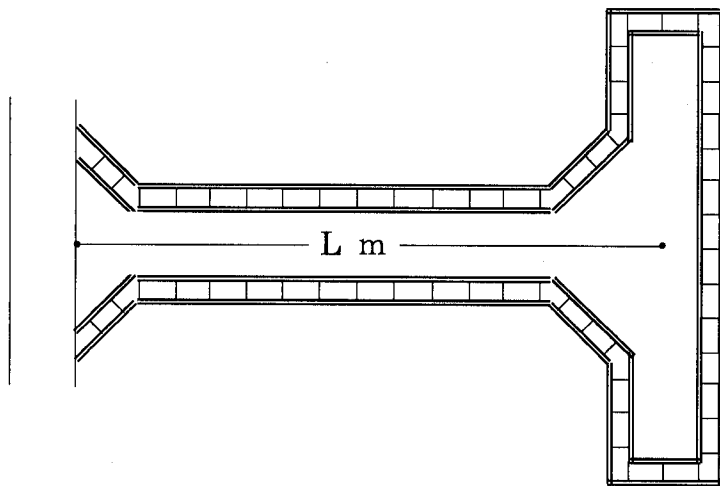
⑤ 水路がある場合



⑥ 途中に水路等がある場合



⑦ 転回広場がある場合

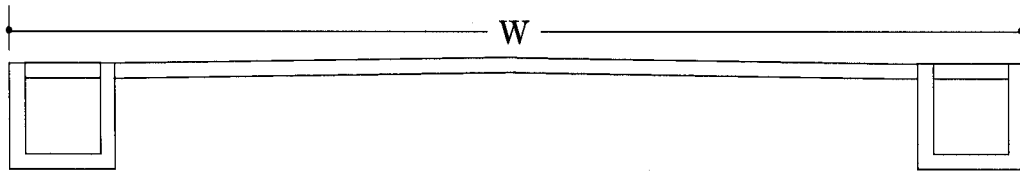


※延長は転回広場の中心とする

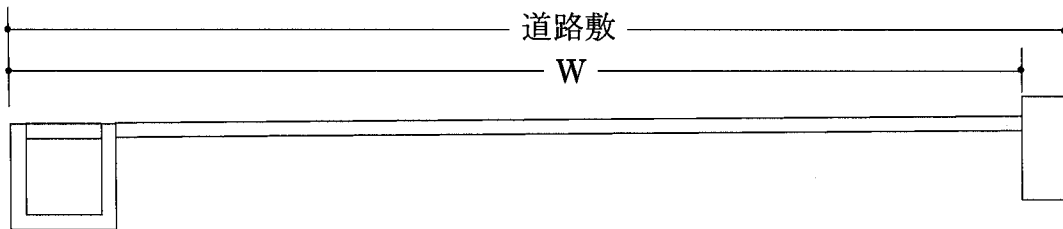
(3) 道路幅員のとり方

道路幅員は有効幅員 ( $W = 4 \text{ m}$ 以上) と道路敷とし、両者の数値が異なるときは、指定は道路敷とするものとする。

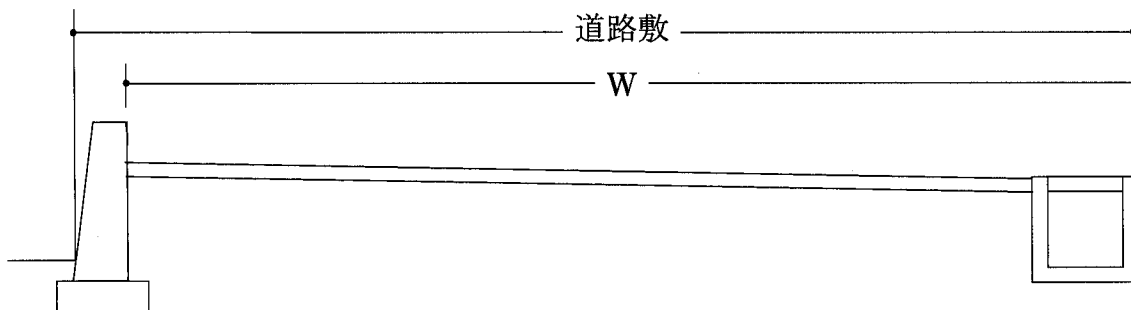
① 両端が有蓋道路側溝の場合



② 一方が側溝、一方が縁石の場合



③ 一方がガケ、一方が側溝の場合



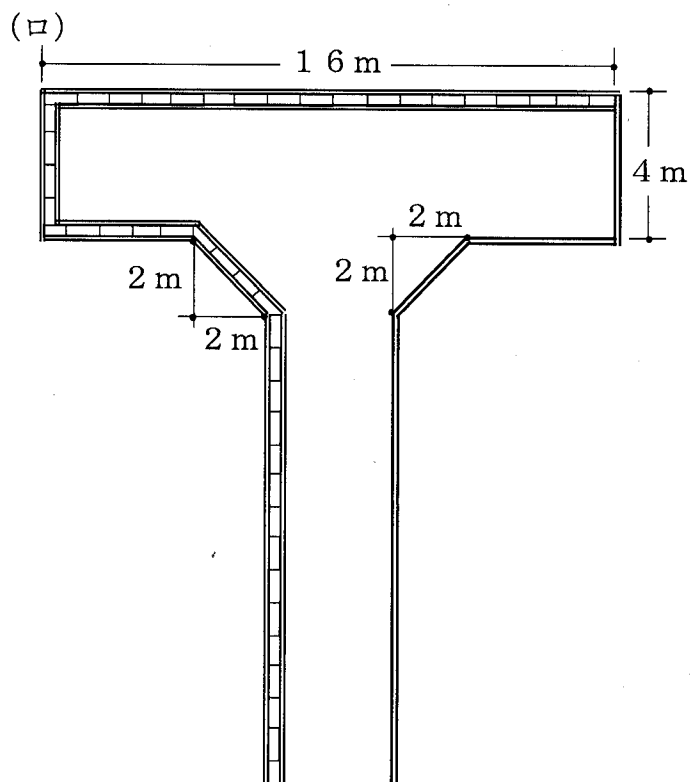
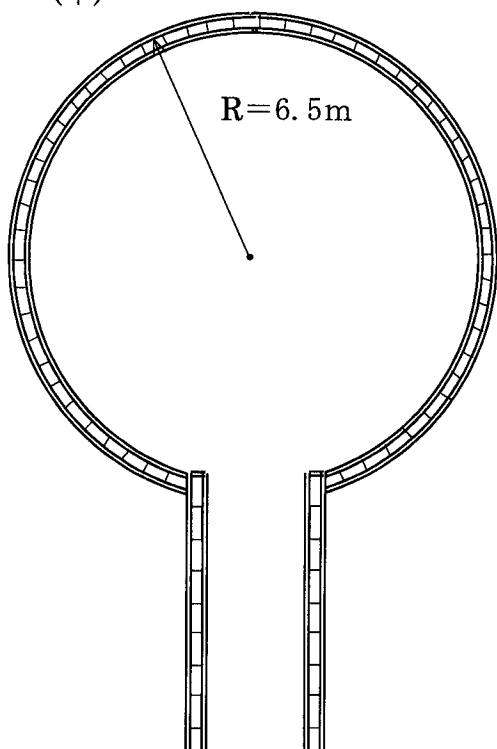
(4) 転回広場の形状

建設省告示第1837号に規定する事項を満足すれば、原則として形状は問わない。

以下参考例を示す。

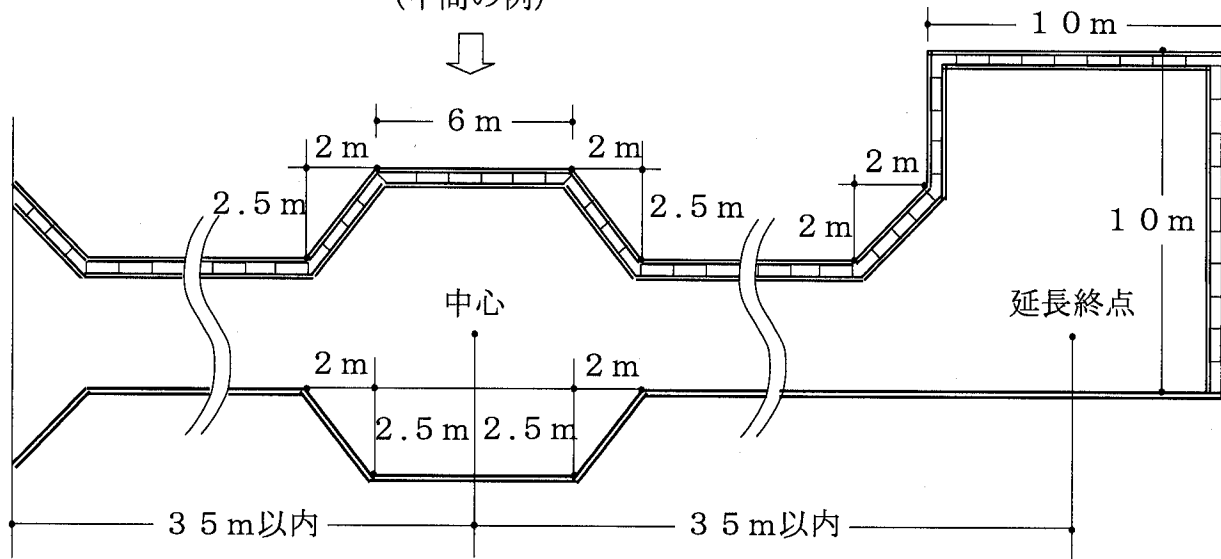
(A) 終端に設ける場合

(イ)



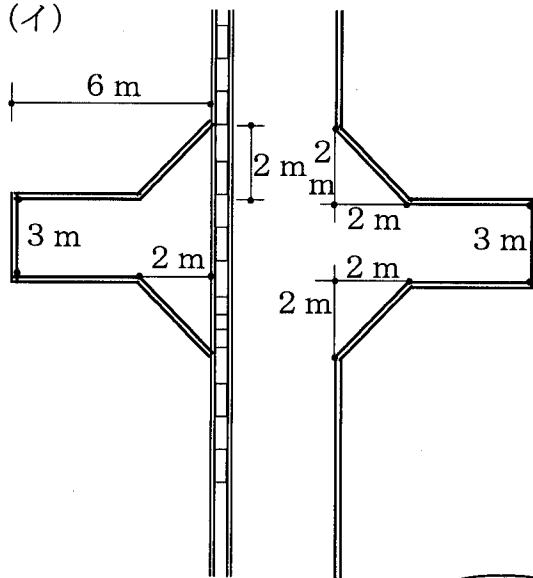
(ハ) (建築基準法施行令第144条の4第1項第1号ハ)

(中間の例)

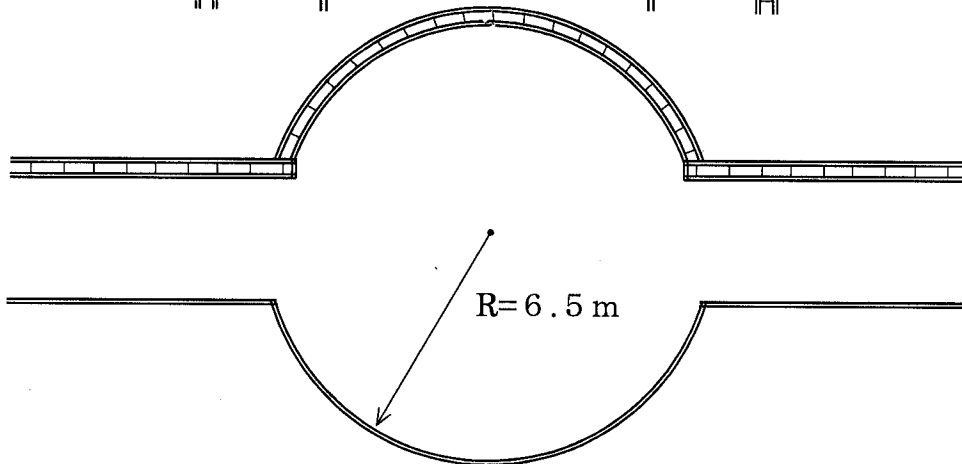
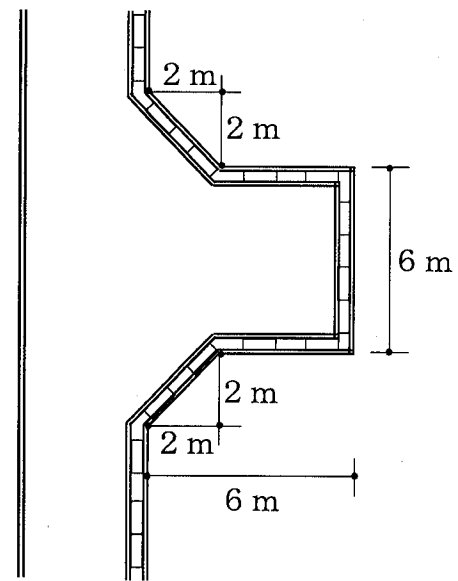


② 中間に設置する場合

(イ)



(ロ)



[ 参考 ] 建設省告示第1837号

道に設ける自動車の転回広場に関する基準を定める件

建築基準法施行令第144条の4第1項第1号ハの規定により建設大臣が定める自動車の転回広場に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。

- 1 道の中心線から水平距離が2mをこえる区域内において小型四輪自動車（道路運送車両規則別表第1に規定する小型自動車で4輪のものをいう。次号において同じ。）のうち最大のものが2台以上停車することができるものであること。
- 2 小型四輪自動車のうち最大のものが転回できる形状のものであること。

(施行年月日 昭和46年1月1日)

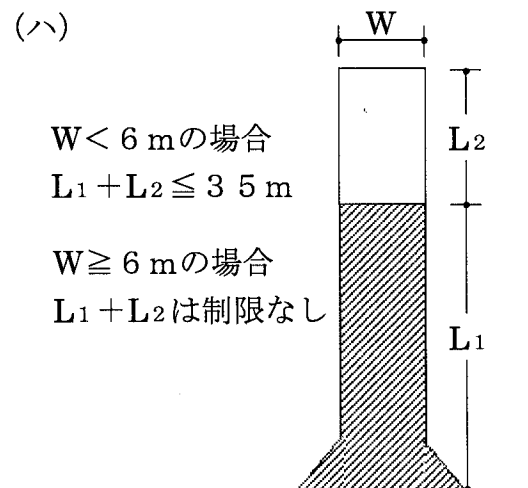
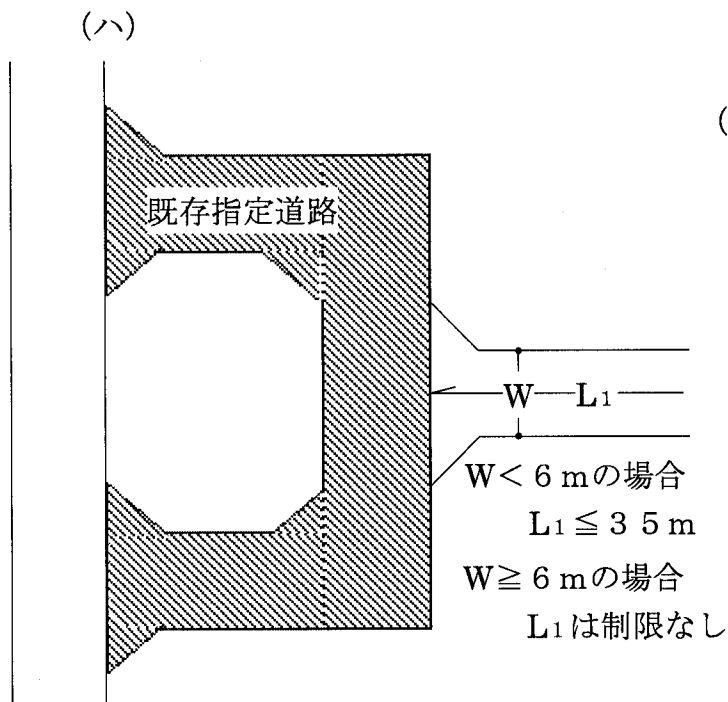
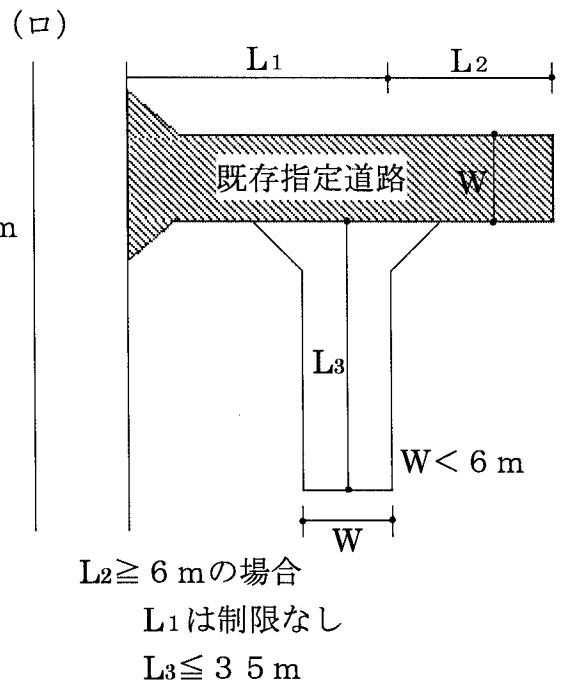
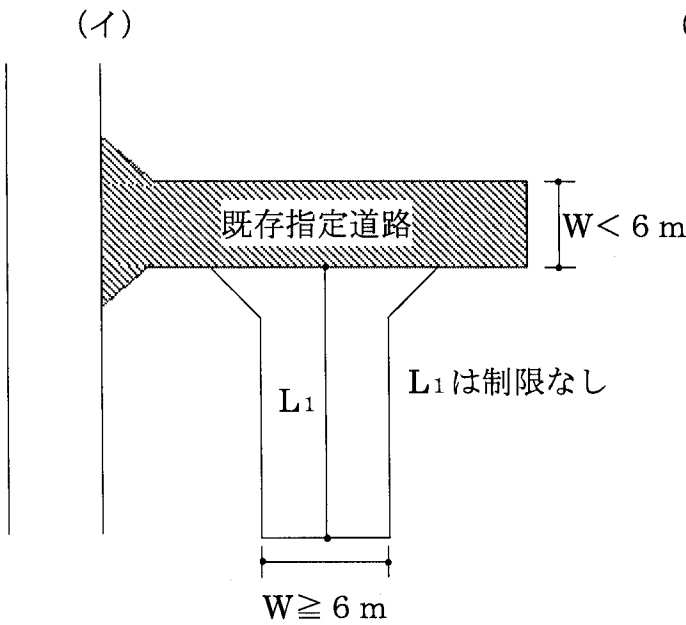
(5) 既存指定道路に接続する場合

(昭和46年前の指定道路に接続)

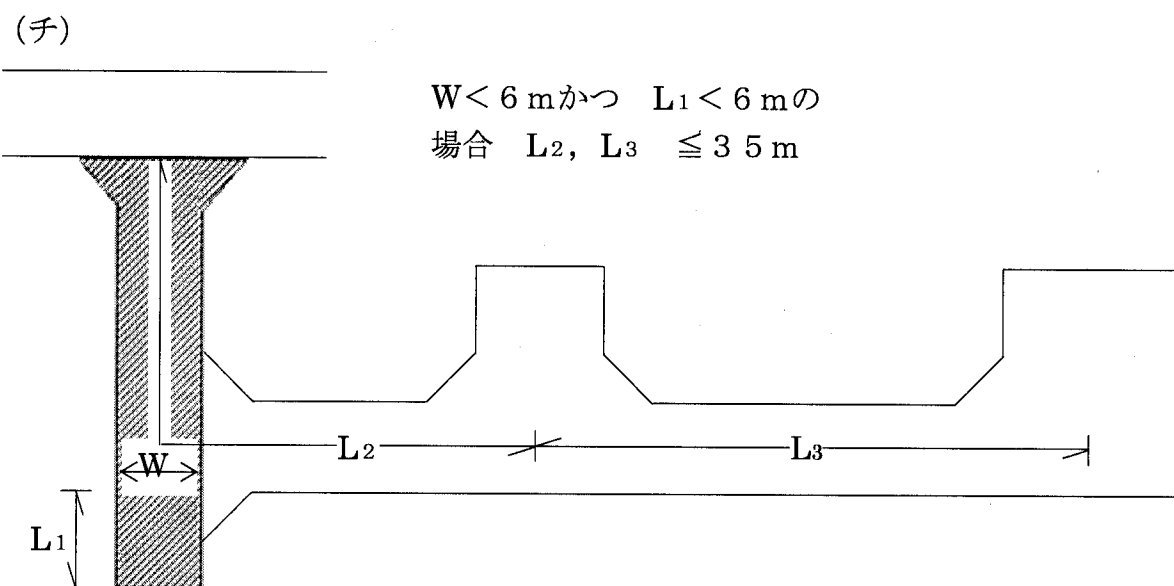
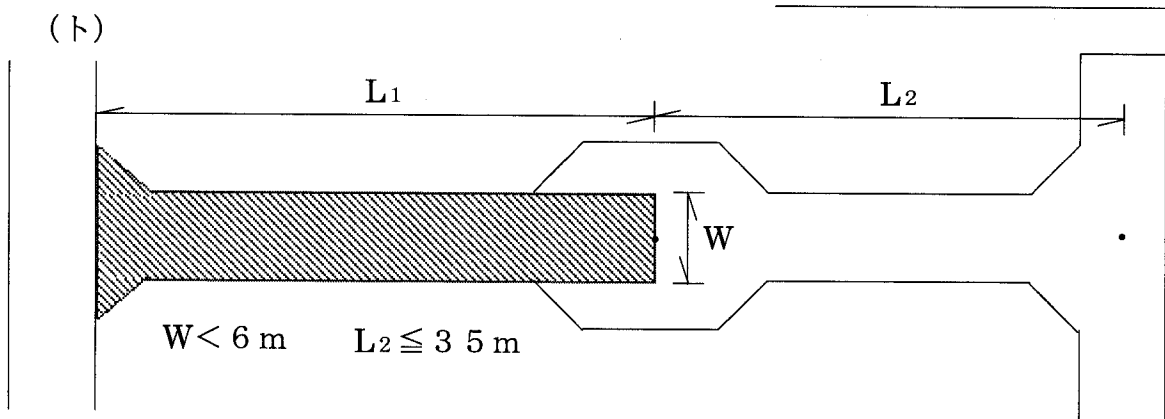
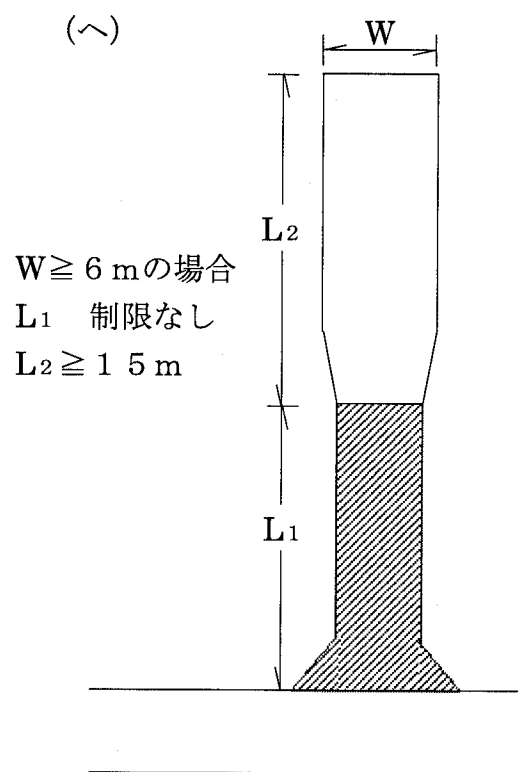
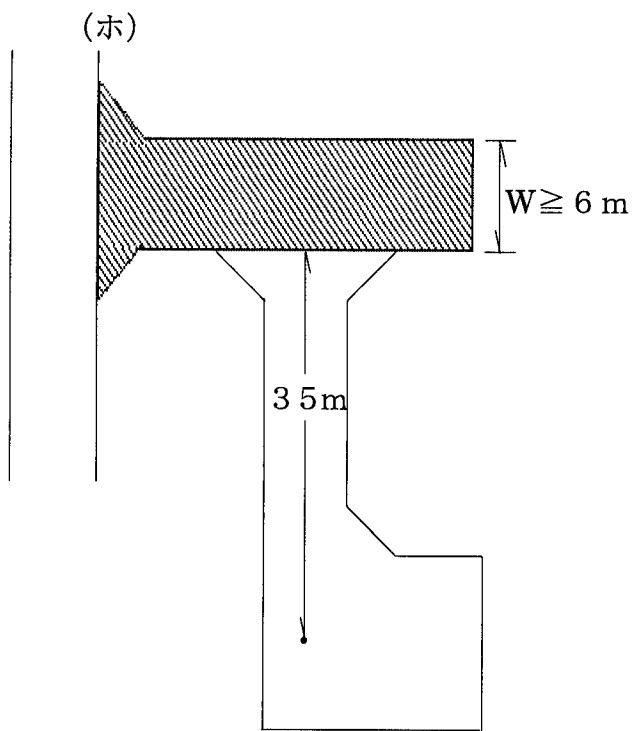
[ 参考 ] 建築基準法施行令 附則 (の)

2 この政令の施行の際現に改正法による改正前の建築基準法第42条第1項第5号の規定による道路の位置指定を受けている道は、この政令による改正後の建築基準法施行令第144条の4第1項各号に掲げる基準に適合するものとする。

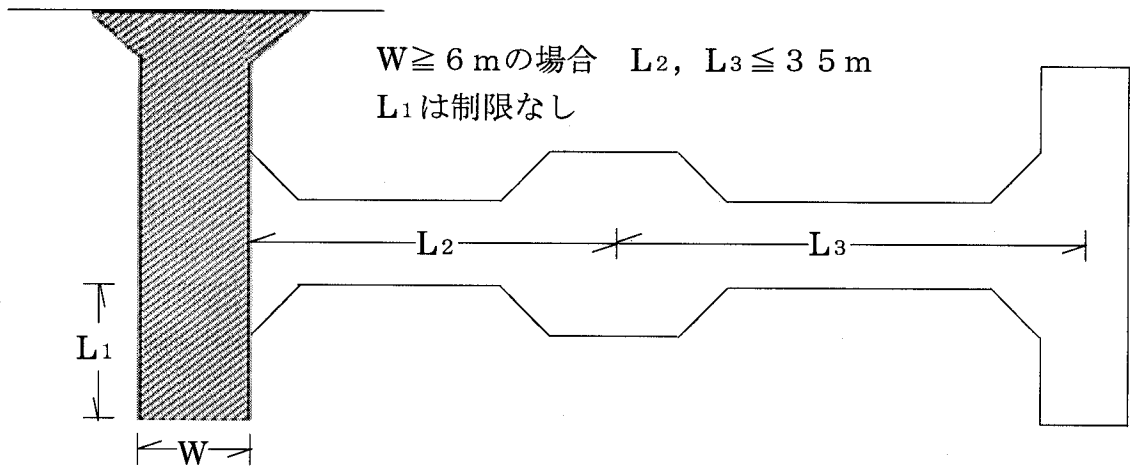
(施行年月日 昭和46年1月1日)







(リ)

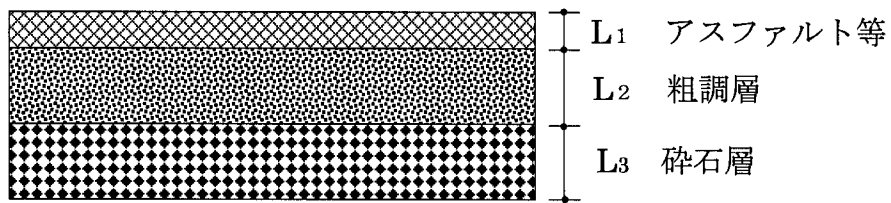


(注1) 昭和46年以後に指定済の道路に接続する場合は、既存指定道路を含めて施行令第144条の4第1項各号の検討をしなければならない。

(注2) 既存指定道路が法第42条第2項に規定する道路に接続する場合も前記(イ)～(リ)に準ずる。

(6) 道路の構造基準

- 1 路面は原則として舗装構造とすること。



$L_1 \geq 4 \text{ cm}$        $L_2 \geq 10 \text{ cm}$        $L_3 \geq 20 \text{ cm}$

上記は標準的な構造であり、実際には土質、交通量を考慮して決定すること。

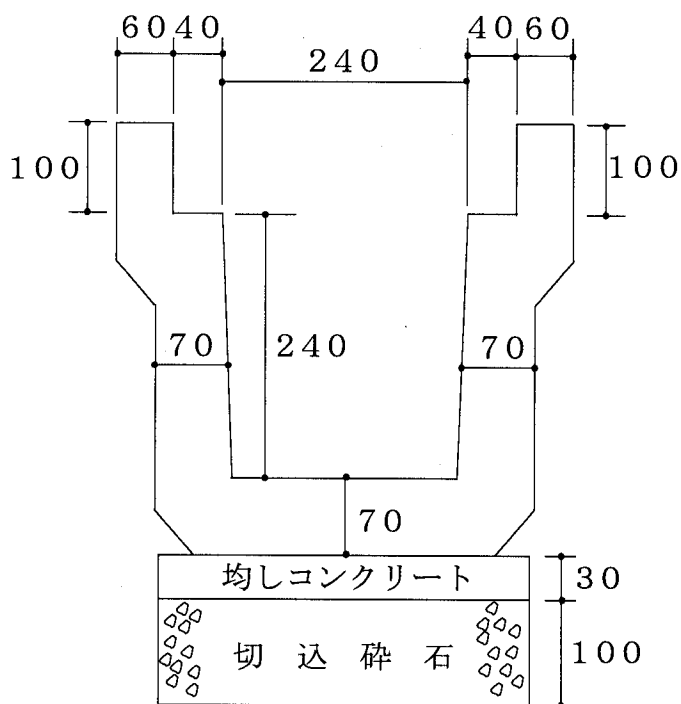
- 2 縦断勾配は12%以下とすること。なお、9%以上の勾配の場合はスベリ止め舗装をしなければならない。
- 3 横断勾配は下に示す表を標準値とする。

路面の種類	横断勾配 %
セメント、コンクリート舗装 アスファルトコンクリート舗装	1.5以上2以下
その他	3以上5以下
歩道又は自転車道	1.5以上2.5以下

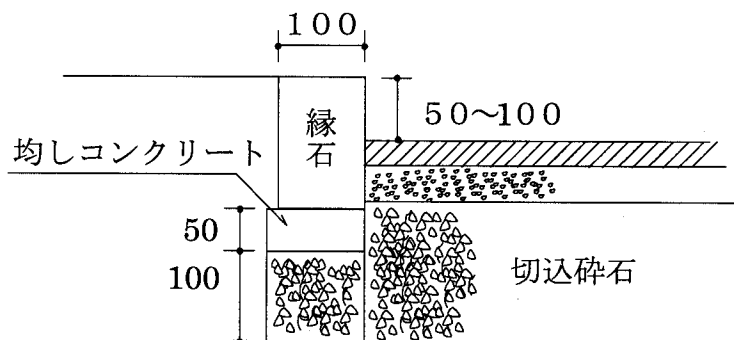
(7) 道路側溝等の構造基準

- 1 原則として道路側溝には2で示す基準と同等以上の、15cm以上の泥溜を有する集水マスを設置するものとする。

2 道路側溝は落蓋型構造のものを原則として使用し、下図に示す基準と同等以上とすること。



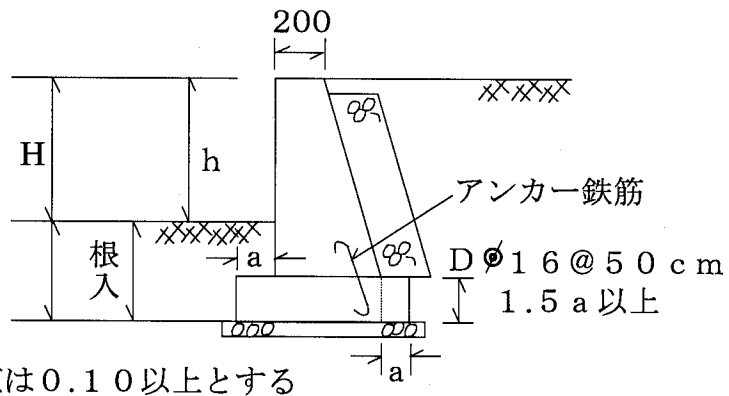
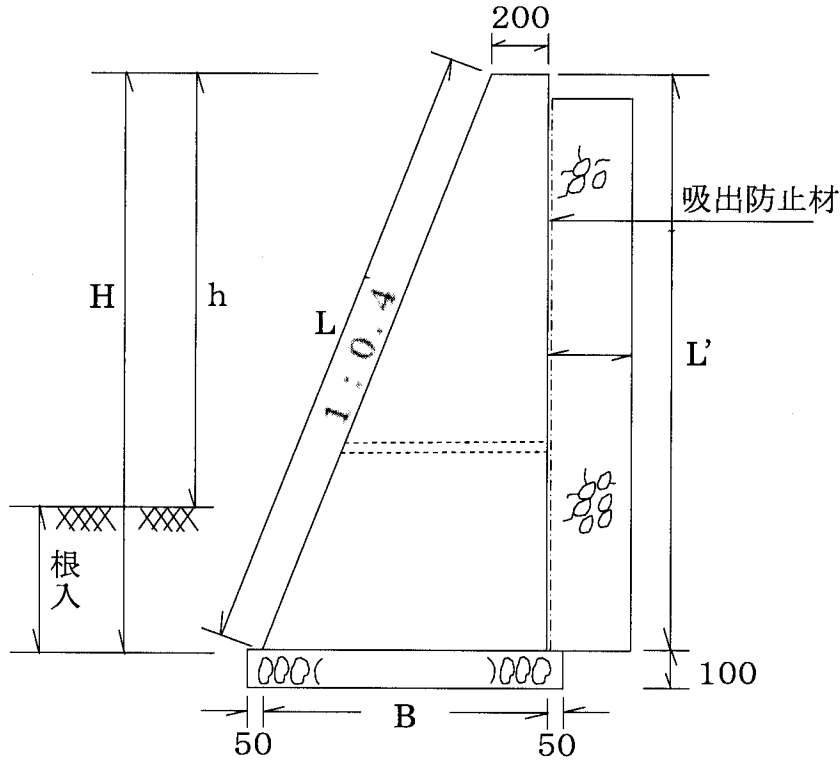
3 縁石は下図に示す基準と同等以上とすること。



4 原則として道路側溝には1で示す基準に適合する溝蓋を設置すること。この場合において、設置する溝蓋と同強度のグレーチングを、1.5 m以内に1箇所を標準として設置するものとする。

(8) 擁壁の設計基準 (道路用)

擁壁は原則として下に示す基準のものを使用すること。ただし、計算等により安全性が確認できるものについてはこの限りでない。



(注) Hにかかわらず天巾は0.20mとすること。

寸 法 表						1.0 m当り材料表		
表勾配 (N)	裏勾配 (N)	直 高 (H)m	底 巾 (B)m	表法長 (L)m	裏法長 (L')m	体立積 (V)m <sup>3</sup>	型砕立積 (a)m <sup>2</sup>	砕 石 m <sup>3</sup>
0.4	0.0	0.5	0.40	0.538	0.500	0.150	1.03	0.050
〃	〃	0.6	0.44	0.646	0.600	0.192	1.24	0.054
〃	〃	0.7	0.48	0.753	0.700	0.238	1.45	0.058
〃	〃	0.8	0.52	0.861	0.800	0.288	1.66	0.062
〃	〃	0.9	0.56	0.969	0.900	0.342	1.86	0.066
〃	〃	1.00	0.60	1.077	1.000	0.400	2.07	0.070
〃	〃	1.10	0.64	1.184	1.100	0.462	2.28	0.074
〃	〃	1.20	0.68	1.292	1.200	0.528	2.49	0.078
〃	〃	1.30	0.72	1.400	1.300	0.598	2.70	0.082
〃	〃	1.40	0.76	1.507	1.400	0.672	2.90	0.086
〃	〃	1.50	0.80	1.615	1.500	0.750	3.11	0.090
〃	〃	1.60	0.84	1.723	1.600	0.832	3.32	0.094
〃	〃	1.70	0.88	1.830	1.700	0.918	3.53	0.098
〃	〃	1.80	0.92	1.938	1.800	1.008	3.73	0.102
〃	〃	1.90	0.96	2.046	1.900	1.102	3.94	0.106
〃	〃	2.00	1.00	2.154	2.000	1.200	4.15	0.110

- (注) 1 水抜穴は  $\phi$  75 mm/mを3 m<sup>2</sup>に1本の割合に入れること。
- 2 根入深さは0.35～0.5 mとするが、前面の畑、水田においては耕作深があるので、0.5 m以上とすること。また、水路の場合には適宜根入深さを決定すること。
- 3 裏面に集水効果のある吸出防止剤を使用の場合は裏込栗石を省略出来るものとする。